

⇒ 大学において学修するための基礎知識 I～Ⅷ

I. 「履修する」ということ —所属する学科の課程を学習し修めること—

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など、自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に、主体的に取り組んでください。

II. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間の前学期(15回)と後学期(15回)の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年＝8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして、年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学習していくことが大事です。

III. 大学の授業科目は単位制 —学習時間と単位の関係—

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外(授業以外)での学習時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。

2単位を修得するためには、

$$\text{授業科目 1コマ} = 2\text{時間/回(本学では90分)} \times 15\text{回}$$

$$\text{修得のための予習復習時間} = 4\text{時間/回} \times 15\text{回}$$

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で22単位(11科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11＝44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。**そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています(※詳細は9ページ「3 履修登録にあたっての注意事項」を参照のこと)。**

IV. カリキュラム(学修体系)の特長 —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを、自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

1. 科目の種類

【必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目です。

必修科目は、必ず履修して、合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1つでも不合格だと卒業できません。

【選択必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

【選択科目】

各学科に配当された、より高い専門性を修得するための科目です。

皆さんの意思で自由に選択できます。

2. 学修体系の特長

【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは総合教育科目と外国語科目と専門教育科目の3つに大別されます。

※詳細は「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照してください。

【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。

本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。

グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。

自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』レベルの科目から『Advanced』科目へ挑戦してください。

【教職課程・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。

これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

V. 履修登録する ー 選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

1. 自分の学修体系を決める

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた学習プランを考えてください。

→ 在学生は、学生ポータル「あなたの成績台帳」をもとに、自分の学修体系を再確認してください。

前年度までの学習計画を再検討するのに良い機会でもあり、さらに方向修正もできます。

2. 科目名をチェック ⇒ 科目名で大体の内容をイメージ

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

3. シラバス(講義要項)で科目の講義内容をチェック

科目名だけでは、実際の講義内容の詳細はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が載っていますので活用してください。

4. 履修登録 ⇒ 履修登録期間をチェック

前学期の授業開始時に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。

後学期の科目については、後学期に履修の変更登録期間を設けています。

変更登録期間では後学期開講科目の追加・削除・変更が可能です。

履修登録するための諸注意を、9ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。

忘れずに、また間違いのないよう慎重に登録してください。

VI. 学生の皆さんへの注意事項 ー 自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルサイトを確認する習慣をつけてください。
3. 提出期限は厳格に守ってください。(期限後は受け付けません)
4. 教務課窓口の業務時間 (時間外は受け付けません) 【平日(授業期間)】 8:30~19:30

VII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学部名等	略称名
応用生物科学部	応生学部
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
生命科学部	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
地域環境科学部	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
国際食料情報学部	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
国際バイオビジネス学科	ビジネス
アグリビジネス学科（2023年入学～）	ビジネス
国際食農科学科	食農
英語による専門教育プログラム	英語専門
全学共通科目	全学共通
教職課程	教職
学術情報課程	学情

2023年度 年間授業計画

(応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部)

月	日(曜日)	行事予定
4	2日(日) 3日(月)～9日(日) 10日(月)	入学式 新入生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 前学期授業開始(7/13まで)
5	1日(月)～2日(火) 5日(金) 18日(木)	【休講日】 【授業日】こどもの日 【授業日】大学の記念日
6		
7	13日(木) 14日(金)～20日(木) 21日(金)～	前学期授業終了 前学期定期試験(7/17海の日は定期試験を実施)
8		夏季休業 追試験、夏季集中授業、各種教育プログラム
9	上旬 27日(水) 28日(木)	前学期定期試験の評価開示 後学期授業開始(1/19まで)
10	9日(月)	【授業日】スポーツの日
11	2日(木)～ 7日(火)	収穫祭に伴う休講期間 (世田谷キャンパス)前夜祭11/2、収穫祭11/3～5 (厚木キャンパス)前夜祭11/3、収穫祭11/4～5 (両キャンパス)準備11/2、体育祭11/6、後片付け11/8
12	26日(火)	冬季休業
1	5日(金) 9日(火) 12日(金) 17日(水) 19日(金) 22日(月)～26日(金) 31日(水)	後学期授業再開 【休講日】大学入学共通テスト準備日 【補講日】 後学期授業終了 卒業論文題目届の提出期限(3年次生) 後学期定期試験 卒業論文の提出期限(卒業年次生)
2	下旬	後学期定期試験の評価開示
3	6日(水) 8日(金) 20日(水・祝)	【休業日】学校法人の創立記念日 卒業確定者及び進級確定者の発表 学位記授与式

注: 上記スケジュールは予定であり、新型コロナウイルス感染症の状況等により変更することがあります。

変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

1 学生ポータルとは ※マニュアルから講義連絡、教材フォルダー

学生ポータルとは、学生生活を送るうえで必要な情報をWeb上で確認できるシステムです。個人の呼び出しや授業の情報等がインターネットに接続しているパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー・シラバスの検索など授業の受講に必要な手続にも利用します。

(1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ
www.nodai.ac.jp/

①[在学生の方]をクリック

②[学生ポータル]をクリック

使用するデバイスを選択してください。

…「学生ポータルパソコン用」

…「学生ポータルスマートフォン用」

東京農業大学



③「利用者ID」に学籍番号を入力し、

パスワードを入力し、

[ログイン]をクリックする

(2) 各メニューの使い方



A 上部メニューバー

◇ My時間割

自身の授業時間割が確認できます。授業を受ける前にここから情報を確認してください。
教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

◇ 教務掲示

授業に関する情報の確認や履修登録、成績の確認ができます。

・時間割表

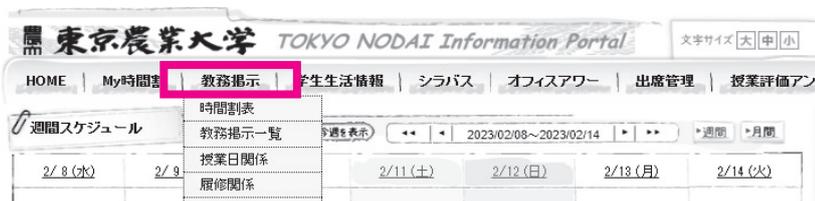
授業時間割表(開講学期・曜日・時限・担当者等)、授業日・集中講義一覧を確認できます。

・教務掲示一覧

講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。

【教務掲示の検索方法】検索条件から必要な情報を検索できます。

詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると過去の掲示内容や教員ごとに確認できます。



①カーソルを「教務掲示」に合わせ表示された[教務掲示一覧]をクリックしてください。



②履修中の科目に関する講義連絡が表示されます。
閲覧したい「科目名」をクリックし、内容を確認してください。

～教務掲示種類～

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 休講情報 | 授業の休講を確認 |
| 補講情報 | 休講した講義の補講日程を確認 |
| 時間割変更情報 | 教室の変更や時限・曜日変更等があった場合に確認(一時的変更) |
| 講義連絡 ※1 | 授業の情報や課題・試験等について確認 |
| 授業日程変更 | 授業の時限が変更された場合や、教室変更があった場合(学期中変更) |
| レポート課題 ※2 | レポート課題の確認と提出 |

※1 講義連絡

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | トップページ | 教務表示 | 学生生活情報 | シラバス | オフスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート | キャンパス

教務情報(講義連絡情報)

講義連絡対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
水4限 (14:40-16:10)		山田 隆一	教室	後学期

講義連絡の詳細

- メッセージ種別: 講義連絡
- 送信者: 山田 隆一
- タイトル: 農業経営学スライド
- 詳細: 農業経営学の授業で使用したスライドの重要部分をアップします。復習用に使って下さい。
- URL:
- 添付ファイル:
 - ファイル1: 農業経営学(経営組織)
 - ファイル2: 農業経営学(ワードセキュリティ)
 - ファイル3: 農業経営学(まとめ)
- 備考:

シラバスを確認する

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2021

「開講科目名」をクリックすると講義に関する連絡が確認できます。

試験や授業の受講についての案内もありますので、授業の前に必ず確認してください。

※2 レポート課題

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | トップページ | 教務表示 | 学生生活情報 | シラバス | オフスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート | キャンパス

教務情報(レポート課題情報)

レポート課題対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
金4限 (14:40-16:10)		瀧澤 英子	教室	後学期

レポート課題情報の詳細

- メッセージ種別: レポート課題
- 送信者: 瀧澤 英子
- タイトル: 後期レポート(Mystery Box)
- 詳細:

期末レポートのお知らせです。
まず、添付のワーキング資料を注意深く読み、レポートの指示を確認してください。
その上で、下記リンク先より、レポートを作成し提出してください。
なお、本課題はこれまでと異なり、レポートの回答内容に制限を設けておりません。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=LkPSPFmN1KJHSPFzSiA81LYJUNeFENYqJKDey-1UQJFmWZDU1dDT0N4MkJKSg9DRU9LOVhXND4u>

以上です。
- 提出期限: 2/1(月)20:59 ■期限後の提出を許可しません
- 添付ファイル: Mystery_Box_report.docx
- 備考:

レポートを提出する

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2021

レポート内容を確認し、指定の書式でレポートを作成してください。

[レポートを提出する]をクリックすると詳細と下記の画面が確認できます。

※学生ポータル「あなたの履修」で確認できる科目のみレポート課題を提出することができます。

提出状況

提出状況	未提出
提出ファイル	参照
提出コメント	<input style="border: 2px solid red;" type="text" value="(1000文字以内で入力してください。)"/>
教員コメント	
提出日時	-

レポートを提出する

[参照]をクリックし、作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、[レポートを提出する]をクリックしてください。

※提出した後に同画面を確認し、「提出済み」「受理」「再提出」等を必ず確認してください。

・あなたの履修

履修登録期間に登録した科目の確認ができます。

※未登録の科目は受講や試験を受験できません。

・あなたの成績台帳

評価開示の際に成績、単位修得状況、GPA等を確認することができます。

◇ シラバス

授業の内容を確認することができます。評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

◇ オフィスアワ

授業担当者の連絡先や、質問方法、質問時間が掲載されています。授業時間以外で質問する場合はオフィスアワーで確認をし、連絡するようにしてください。

B 週間スケジュール

授業の予定や大学の予定を確認できます。

科目名をクリックすると講義連絡等を確認することができます。

なお、隔週科目は毎週表示され、集中科目は表示されません。

C お知らせ

◇ 全学共通のお知らせ

農大生全体にお知らせしている内容です。

授業の運営方針やシステム障害等重要なお知らせをします。

◇ 各キャンパスからのお知らせ

所属キャンパスごとのお知らせです。

履修登録や定期試験等について、お知らせします。必要な情報を確認してください。

◇ あなた宛のお知らせ

個人宛に送っている内容です。

特定の学科、学年にのみ送信している連絡、授業に関するお知らせ、教員や事務局からの呼び出し等のお知らせがあります。必ず確認し、対応してください。

2 履修登録日程

履修登録にあたり「履修のてびき」「学生生活ハンドブック」「シラバス」で修得すべき単位数、各授業科目の履修方法、履修条件を理解しておくことが大切です。

履修登録は Web 履修登録です。履修登録の入力方法(23 ページ)を熟読し、手続きしてください。

※履修登録前に「住所等の登録」、「住所等の変更/確認」が必要です(28 ページ参照)。

履修登録の手順	前学期	後学期	
学科ガイダンス等 履修計画を立てる	4月上旬		「履修のてびき」を配布等 学生生活ハンドブック及びシラバス・時間割表(学生ポータルに掲載)を参照して履修計画を立ててください。
授業開始	4月10日	9月28日	各自の履修計画に沿って授業に出席してください。 ※履修登録前の授業も出席してください。
履修登録期間	4月11日 ～ 4月14日	9月中旬	履修登録の入力方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修登録してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30はメンテナンスのため停止 最終日は17:00で終了
履修登録開示	4月20日	9月下旬	学生ポータルサイト「あなたの履修」にて正しく登録させているか必ず確認してください。
履修修正期間	4月24日 ～ 4月26日	10月上旬	履修登録の入力方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修修正してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30はメンテナンスのため停止 最終日は17:00で終了
履修修正登録確定	5月8日	10月中旬	学生ポータルサイト「あなたの履修」にて履修修正が反映されているか必ず確認してください。

※後学期日程は7月下旬に学生ポータルにてお知らせします。

※教職・学術情報課程の履修については21・22ページを参照してください。

3 履修登録にあたっての注意事項

履修は必ず全員が登録し、登録内容を確認してください。

※ 当該学年の必修科目のみ履修する場合でも必ず確認してください。

(1) 履修登録の手順

- ◇ 必要なもの:履修のてびき、学生生活ハンドブック・時間割表(学生ポータルから確認)
※ 授業の内容についてはシラバス(学生ポータルサイト)を参照してください。
- ◇ 履修希望科目の履修番号を時間割表の該当曜日時限に登録してください(23ページ～の11.履修登録の入力方法を参照)。
- ◇ 登録した科目・クラス等は、最終確認のため必ず印刷等で保管してください。

(2) 履修登録上の注意事項

- ◇ 履修番号の登録を間違えると、エラーまたは全く別の科目が登録されるので注意してください。
- ◇ 在籍学年の必修科目は自動登録されているので登録する必要はありません。
万が一自動登録科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目の履修番号をその時間帯に登録してください。
 - ※原級・留年・再入学・転学部・転学科・転入学及び編入学した者は、卒業まで自動登録とならないので、各自で履修番号を登録してください。
 - ※必修科目を再履修する場合も自動登録されません。
- ◇ 同時限に開講している科目は、いずれかを選んで履修番号を登録してください。
- ◇ 同一時限に隔週で開講する科目を履修する場合は、同一時限に登録してください。
- ◇ 2時限以上続けて開講する科目は、授業開始時限のみ履修番号を登録してください。
- ◇ 集中授業科目は、開講学期にあわせて集中講義選択画面で履修番号を登録してください。
- ◇ 通年科目は、前学期授業開始時限のみ履修番号を登録してください。
- ◇ 上級学年次配当科目は履修できません(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ◇ いかなる理由があっても前学期開講科目(通年・前期集中科目含む)は、後学期履修登録期間には登録・削除できません。
- ◇ 学生生活ハンドブックの「授業科目配当表」と開講学期が異なることがあるので注意してください。
学生ポータルの時間割表に沿って登録してください。

(3) キャップ制(履修登録単位数の制限)

学期ごと及び1年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。
制限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

履修上限は、学期ごとに22単位まで・年間44単位まで(キャップ制)です。

ただし、栄養科学科の学生は学期ごとに25単位まで・年間49単位まで

※ リメディアル科目、専門実用科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

履修登録単位数制限(キャップ制)の計算方法

- A 前学期開講科目は前学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- B 後学期開講科目は後学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- C 1年間開講する科目(卒業論文など通年科目)は、単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- D 集中開講科目は、年間の単位数としてカウントします。

(計算例) 【履修単位】

→ 【集計単位】

前学期科目 20単位を登録…A

前学期 : $A + C / 2 = 21$ 単位

後学期科目 18単位を登録…B

後学期 : $B + C / 2 = 19$ 単位

通年科目 2単位を登録…C

年間 : $(A + C / 2) + (B + C / 2) + D = 44$ 単位

集中科目 4単位を登録…D

4 履修登録上、特に注意を要する授業科目

(1) 英語科目

所属学部によってクラス分けの方法が異なります。履修については学科ガイダンス等で説明があるので確認してください。地域環境科学部で再履修する学生は、再履修クラス(Sクラス)を履修してください。

※ 外国語科目の基盤英語科目・実用英語科目については、他学科・他学部聴講は認めません。

※ クラス変更は認めません。

(2) スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

シラバス(授業実施方法、実施種目など)を確認してから第1回目の授業を受講してください。

履修人数に定員を定めており、**第1回目の授業で履修者の決定とクラス分けを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。**履修者の定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行います。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できます。教科書は、授業を履修できることが決定した後に購入してください。

第1回目の授業(桜丘アリーナ 2F フロアに集合、体育館用シューズ着用)では運動は行わないので私服のままでも可です。

※ 2年次以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第1回目の授業に出席してください。

(3) ステップ制のある授業科目

- ◇ 「国際食料情報学部 外国語科目の初修外国語」
(中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、ハングル・韓国語)
 - ・ 科目の**(一)→(二)→(三)→(四)順序に従い単位修得する**科目です。
例えば(一)の単位修得しなければ、(二)を履修することができません。
- ◇ 「特別講義Hコース データサイエンス基礎」
 - ・ 履修には **情報基礎(一)、情報基礎(二)の単位修得が必要**です。

(4) クラス分けのある授業科目

- ◇ **クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用されます(一部を除く)。学籍番号でクラス分けされる科目は、学生ポータルで掲示されるクラス分け表に基づき、自分の所属するクラスを確認してください。**
- ◇ 下級学年次のクラス分けのある科目は、クラスを選んで履修番号を登録してください(一部を除く)。
- ◇ 学科指定のある科目は、自分の学科で履修してください。
- ◇ 外国語科目・専門教育科目の学科基礎科目の時間割に、A・B・C…でクラス分けがある場合は、クラスを選択できます。ただし、情報基礎、英語科目は指定がある場合があるので、ガイダンス等の指示に従ってください。
- ◇ 原級・再履修の学生は、開講クラスの最後のクラスで履修してください(栄養を除く)。
- ◇ 教職・学術情報課程の時間割に、学科指定以外のクラス分けがある場合は、クラスを選択できます。

(5) リメディアル教育科目

リメディアル教育科目は、1年次に開講します。年度当初に受講対象者を決定し、対象学生は指定の授業に必ず出席しなければなりません。他学部・他学科のリメディアル教育科目は履修できません。**同科目は卒業要件単位には含まれません。**

(6) 他学科・他学部聴講

- ◇ 他学科・他学部聴講を希望する場合は、時間割表(学生ポータル掲載)を参照し、希望科目の履修番号を登録してください。クラス分けがある科目については、クラスを選んで登録してください。
- ◇ 他学科・他学部聴講は、上級学年次配当科目を履修できません。
- ◇ 他学科・他学部の履修登録単位の上限は、在学中合計16単位(栄養は合計30単位)です。
※ 合否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます。
- ◇ 次の科目については他学科・他学部聴講の対象外です。
 - ・ 実験・実習・演習(研修を含む)科目(開発「海外農業実習(一)(二)(三)」を除く)
 - ・ 各学部の総合教育科目(スポーツ関係科目を除く)、外国語科目(初修外国語科目を除く)
 - ・ 一部の学部または学科開講科目(時間割表に★または☆マークの入っているもの)
★:他学部・他学科履修不可 ☆:他学部または他学科履修不可

(7) その他、各学部の特異な科目

◇ 初修外国語関係科目は、いずれかを選択して履修してください(複数の語学を選択することはできません)。

※ 国際食料情報学部の開講科目は該当外です。

【該当科目】

- 応用生物科学部……「中国語」、「スペイン語」
- 生命科学部……「中国語」、「スペイン語」、「ドイツ語」
- 地域環境科学部……「ドイツ語」、「中国語」

(8) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧です。以下の点に注意してください。

◇ **所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科・他学部聴講できません。**

【例】 バイオの学生は微生物の「応用生物学」を履修できません。

→バイオ3年次に「応用生物学」の開講があるため。

◇ 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできません。

科目名	学部	学科	学年
日本国憲法	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	2
	地域学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
化学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
生物学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
物理学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
地学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	2
中国語(一)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
中国語(二)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
スペイン語(一)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
スペイン語(二)	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
ドイツ語(一)	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
ドイツ語(二)	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
アイソトープ利用論	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
バイオインフォマティクス	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	3
	生命学部	微生物	2
バイオプロセス工学概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
応用微生物学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
解剖生理学	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
科学と哲学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
科学の歴史	地域学部	全学科	1
科学メディア論	応生学部	全学科	3
	生命学部	微生物	3
環境科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
環境化学	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	3
環境学習と体験活動	地域学部	全学科	2
環境倫理	国際学部	全学科	2
機器分析学	農学部	資源	3
	生命学部	生化	3
	生命学部	微生物	3
機器分析学概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
起業論	応生学部	全学科	3
	生命学部	全学科	3
技術者倫理	地域学部	全学科	3
経営学入門	国際学部	全学科	1
経済学入門	国際学部	全学科	1
経済入門	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
芸術	農学部	全学科	2
現代の環境問題	応生学部	全学科	2
現代社会と経済	地域学部	全学科	3
現代社会の諸問題	農学部	全学科	2
源流文化学	地域学部	全学科	2
公衆衛生学	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	3
国際関係と社会問題	地域学部	全学科	3
国際関係を考える	農学部	全学科	2
国際地域農業論	国際学部	ビジネス	2
	国際学部	食農	1
国際農業経済論	国際学部	開発	3
	国際学部	経済	2
心の構造	応生学部	全学科	1
昆虫学	農学部	農学	1
	農学部	資源	2
栽培学入門	国際学部	全学科	1
細胞生物学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	1
食育コース	応生学部	全学科	3
食品衛生学	応生学部	化学	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	3
	国際学部	食農	2
食品化学	農学部	デザイン	2
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	2
食品加工学	応生学部	醸造	1
	応生学部	栄養	2
	国際学部	食農	2
食品機能学	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	3
	国際学部	食農	3
食品工学概論	応生学部	全学科	3
食品製造学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	2
食品微生物学	農学部	動物科学	2
	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	1
自然再生技術論	農学部	全学科	3
実験計画法	農学部	農学	3
	農学部	デザイン	2
	応生学部	化学	4
実験動物学	農学部	動物	1
	生命学部	バイオ	3

科目名	学部	学科	学年
植物育種学	農学部	農学	2
	農学部	資源	4
	国際学部	食農	3
植物栄養学	農学部	全学科	2
植物生長調節論	農学部	全学科	3
植物生理学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
植物生理生態学	農学部	全学科	2
植物病理学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	3
	生命学部	微生物	2
植物防疫論	農学部	農学	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
進化論	応生学部	全学科	2
	生命学部	バイオ	3
心理学概論	農学部	全学科	1
数学	農学部	全学科	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	工学	1
	国際学部	全学科	1
生化学	農学部	全学科	2
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
生化学(一)	生命学部	生化	3
	応生学部	醸造	2
生化学(二)	応生学部	栄養	2
	応生学部	醸造	2
生産経営概論	応生学部	全学科	3
政治のしくみ	国際学部	全学科	1
生体高分子化学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	2
生物工学概論	応生学部	全学科	2
	生命学部	バイオ	3
生物統計学	農学部	動物科学	2
	応生学部	健康	3
	生命学部	全学科	1
生物有機化学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
	生命学部	バイオ	1
生命科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
生命科学概論	生命学部	全学科	3
生命倫理	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1

科目名	学部	学科	学年
測量学	地域学部	森林	1
	地域学部	工学	2
	地域学部	造園	2
	地域学部	創成	2
地域環境科学概論	地域学部	全学科	1
地球環境と炭素循環	地域学部	全学科	1
地域再生・活性化	国際学部	全学科	1
地域と文化	地域学部	全学科	2
畜産学入門	国際学部	全学科	2
知的財産概論	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
	生命学部	微生物	3
地理学	国際学部	全学科	2
調理学	応生学部	栄養	1
	国際学部	食農	2
哲学	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
統計学	応生学部	全学科	1
	地域学部	全学科	2
統計基礎	国際学部	全学科	2
動植物園論	農学部	全学科	3
動物解剖学	農学部	動物科学	2
	農学部	資源	2
	農学部	デザイン	2
動物管理学	農学部	動物科学	1
	農学部	資源	1
	農学部	デザイン	1
動物生理学	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
土壌学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	2
土壌肥料学	地域学部	創成	3
	国際学部	食農	3
日本史	国際学部	全学科	1
農学概論	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	創成	1
	国際学部	食農	1
農学原論	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(一)	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(二)	農学部	全学科	1
農業気象学	農学部	全学科	2

科目名	学部	学科	学年
農業経営学	農学部	農学	2
	農学部	動物科学	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
	国際学部	開発	2
	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
農業経済学	国際学部	開発	1
	国際学部	経済	1
農と科学の歴史	応生学部	全学科	1
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3
農村社会学	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
微生物学	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	バイオ	1
病理学	応生学部	健康	3
	応生学部	栄養	2
文化人類学	農学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
文学概論	地域学部	全学科	1
分子遺伝学	応生学部	化学	3
	生命学部	バイオ	3
分子生物学	農学部	全学科	3
	応生学部	化学	2
	応生学部	健康	2
分子生物学(一)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分子生物学(二)	生命学部	バイオ	2
	生命学部	微生物	2
分析化学	応生学部	醸造	1
	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	1
	生命学部	生化	2
法学入門	国際学部	全学科	1
法と社会	応生学部	全学科	2
無機化学	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	生化	2
有機化学	応生学部	健康	1
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	1
有機化学(一)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
	生命学部	生化	1
有機化学(二)	応生学部	化学	1
	生命学部	生化	2

5 英語による専門教育プログラムの履修登録

Courses Offered by Special Program (Conducted in English) :

「Agriculture, Food and Environment」

◎ 「英語による専門教育プログラム」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本およびほかのアジア諸国における食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、2002年度から開講しているものです。英語での授業を通じて、日本人の学生にとっては、自分の専門分野を英語で習得するよい機会となってそれが留学プログラムを立案したり、International Studiesをより深く理解することに役立ち、また留学生にとっては日本語の授業で十分理解しえない部分を習得できる絶好の機会となります。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強く勧めます。

(1) Program Title:

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) Rationale

An integrated approach is important for the solution of problems of mankind in such areas as food, environment, health, resources and energy, which are all mutually related and interwoven. The food problem generally refers to problems of food production, distribution and consumption, thus covering a wide range of topics. For instance, food production is closely related not only to natural environment but also agricultural and food processing technologies. Distribution of food is determined by political and economic mechanisms, while improved storage and distribution technologies have tremendously contributed to the widening scope of marketing. Food consumption is highly related to the level of income, but culture, social norms and dietary habits are other key determinants of what and how people consume food.

Modern agricultural science has greatly contributed to increased food production, which has expanded beyond global population growth. However, problems of environmental destruction and unassured food safety have also emerged. The urgent need to assure environmental conservation and safe food supply are now globally recognized. At Tokyo University of Agriculture, a multidisciplinary, all-university-education program is now being offered for the study of food and environment. Integrated learning of agriculture, food and environmental issues guides students to see how they can make a contribution to solving global issues in the 21st century.

This program provides the opportunity for Japanese students as well as international students to gain holistic understanding on issues of food, agriculture and environment in Japan and other Asian countries.

(3) Time Table (in 2023)

This program was established in April 2002. The courses are offered to all students in 2023. It is our advice that you select courses according to your English ability.

【First semester】

Comparative Nature Study from Cultural Perspective
Environment and Agriculture
Food and Environment in Economic Development
Food and Health 1
Forest and Forestry
Global Food Systems

Japanese Agricultural Development
Life History and Applications of Landscape Plants
Planning and Design of Landscape Architecture
Vegetable Production Technologies for International Cooperation
Introduction to Bioindustry

【Second semester】

Agricultural Scientific English for International Cooperation
Agricultural Trade
Agro-Environmental Engineering
Comparative Developing Agriculture
Comparative Food Production Technologies
Ecology and Agricultural Production
Ecology and Food Production
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency
Food and Health 2
Farmers and Consumers in Japan (intensive)
Group Approach to Food and Environment (intensive)
Field Study of Food and Environment (intensive)
Sustainable Agriculture in Asia (intensive)
Molecular Biology and Biotechnology
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population

(4) Credits

Each course carries two credits. Credits earned in this program can be counted for graduation requirements, to a maximum of 30 credits under the inter-faculty enrollment system, as specified in Article 15 (3) in the University Constitution.

(5) Examination and Grade

Examinations are conducted during the lecture period. Students are requested to follow the instructions of the lecturers. Since supplementary examinations will not be provided, unsuccessful students are required to re-enroll in the following years.

(6) Fees Required

No additional payment is required. However, the students enrolled in the courses consist of fieldtrips and experiments will be required to cover their own expenses. Details will be given in the class.

(7) You may sit-in under this program

For those students who are interested in the program but are unsure of their English competency, auditing is allowed upon permission from the lecturer. No registration is required in this case, but students can make a formal registration after gaining confidence.

2023年度 英語による専門教育プログラムガイドライン一覧

科目名	項目	開講 キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力	難易度	履修者に求める専門性	備考
Comparative Nature Study from Cultural Perspective		世田谷	全学生	中級以上	中級	自然と文化の関連性に興味がある	ディスカッション(英語)を円滑に行うための前向きな姿勢と英語力が必要です。
Environment and Agriculture		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Food and Environment in Economic Development		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	中級	中級	—	
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、 visiting student、 日本人学生	—	中級	—	
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりも学ぼうとする 姿勢を重視	初級	—	
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Japanese Agricultural Development		世田谷	全学生	初級～中級	初級～中級	日本の農業や食品産業に関する基礎的な知識があるとい	
Life History and Applications of Landscape Plants		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、 visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を数回、実施する 大人数の引率は困難である
Vegetable Production Technologies for International Cooperation		世田谷	全学生	中級以上	中級	Agronomy、栽培学である	
Introduction to Bioindustry		オホーツク	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	初級～中級	初級～中級	自然科学一般である	
Agricultural Scientific English for International Cooperation		世田谷	visiting student、 協力隊希望者	—	中級	—	講義は日本語で実施 (Lectures will be given in Japanese)
Agricultural Trade		世田谷	全学生	中級以上	中級	農業経済関連の時事に関心があることが望ましい	
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	—	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上 (英語でディスカッションできるレベル)	中級	—	
Comparative Food Production Technologies		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	英語力中級～上級	中級～上級	作物学、遺伝・育種学、害虫学、環境科学、 森林生態学である	
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部2年時までの必修専門科目の単位をすべて 修得していること	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と 農学の基本的な知識を必要とする
Ecology and Food Production		世田谷	全学生	英語の専門テキストが無理なく理解でき、 英語でディスカッションできるレベル	中級以上	—	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を 理解できること	
Farmers and Consumers in Japan		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	学ぶ意欲を重視	初級～中級	—	フィールドトリップのための適正規模とする
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人学生、 外国人留学生	上級 (TOEIC500以上目安)	中級～上級	海外協定校の学生と英語でのディスカッションを 行うための英語力と論理力を持つものとする	8月に開催される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に 議長または発表者として参加できることが条件である
Field Study of Food and Environment※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、 アグロエコロジーに興味を持つものとする	7月末に集中開講される「Comprehensive International Education Program (CIEP)」に参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費30,000円程度は自己負担)
Sustainable Agriculture in Asia※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、 アグロエコロジーに興味を持つものとする	7月末に集中開講される「Comprehensive International Education Program (CIEP)」に参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム。参加費30,000円程度は自己負担)
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生	初級	中級	基礎的な生物学の知識を有すること	
Eastern Hokkaido : Identifying Opportunities in a Region of Declining Population		オホーツク	日本人学生、 外国人留学生	中級以上	中級以上	—	英語能力が中級以上ではないと、ディスカッションなどに 参加しにくくなる
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency		世田谷	全学生	中級以上	中級	江戸時代の自然観と文化の関連性に興味があること	ディスカッション(英語)を円滑に行うための前向きな姿勢と 英語力が必要です。

6 2023年度特別講義について

(1) はじめに

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

2023年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として、世田谷キャンパスでは8コースを開講します。

なお、特別講義(一)～(四)は開講時間が重ならなければ複数履修することができ、上級学年になってからでも履修することができます。

(2) 特別講義の履修登録について

履修する場合は、次のA～Hコースの中から受講するコースを選び履修登録してください。

コース	学期	曜日/時限	科目名	担当教員
A	通年	木 5～6	社会開発実践論	入江憲治
B	前学期	金 5	死をめぐる民俗信仰の諸相 (世田谷6大学コンソーシアム連携授業)	及川祥平
C	後学期	月 5	社会経済学から考える世田谷の未来 (世田谷6大学コンソーシアム連携授業)	明石英人
D	前学期	木 5	地域創生講座－地生の現状と課題・あるべき姿	大林宏也
E	後学期	木 5	地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て	高柳長直
F	後学期	金 5	食料安全保障とグローバル・バリューチェーン	野口敬夫
G	後学期	火 5	起業家精神と事業開発	大浦裕二
H	前学期	月 5	データサイエンス基礎	三宅修平

【注意事項】

開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を登録し、順次(二)・(三)・(四)を登録してください。

下表にもとづき履修登録をしてください。

コース	特別講義(一)	特別講義(二)	特別講義(三)	特別講義(四)
Aコース	S3600	S3601	S3602	S3603
Bコース	S3604	S3605	S3606	S3607
Cコース	S7600	S7601	S7602	S7603
Dコース	S3608	S3609	S3610	S3611
Eコース	S7604	S7605	S7606	S7607
Fコース	S7608	S7609	S7610	S7611
Gコース	S7612	S7613	S7614	S7615
Hコース	S3612	S3613	S3614	S3615

(3) <世田谷6大学コンソーシアム連携授業>

本講義は、世田谷6大学コンソーシアム協定大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学）間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講するものです。本学では、2023年度の世田谷6大学コンソーシアム連携授業として、成城大学の 及川祥平先生 による「死をめぐる民俗信仰の諸相」、駒澤大学の 明石英人先生 による「社会経済学から考える世田谷の未来」を開講します。(2023年度のみ開講)

(4) コース別開講目的

A コース 社会開発実践論

＜コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治＞

グローバル化する現代社会は、変動と課題の時代である。国際社会は、世界をより良い方向に変える為に、2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)の取り組みを推進している。このような社会変革の時代には、多種多様な社会の場において、パイオニア的存在として社会が取り組むべき課題を率先して解決することが、これからの時代を生きる人に求められている。本講義では、社会の様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、社会における苦勞、苦心、喜怒哀樂などの体験談や、社会活動に対する実践的な技術、知識、手法を教授する。

B コース 死をめぐる民俗信仰の諸相

＜成城大学 准教授 及川祥平＞

民俗信仰は民俗学の主要な研究対象の一つであり、また、これに関する議論は宗教文化への理解／宗教をめぐる自己理解を深める上で重要な視点をもたらす。一般に日本人は無宗教であるという自己認識をもちがちであるが、宗教研究、とりわけ民俗信仰論の見地からいえば、それは実態に即したものとはいえない。本講義では民俗信仰をめぐる民俗学の基礎的な議論を講義したうえで、「死」をめぐる信仰について掘り下げてレクチャーしていく。これにより、現代社会の宗教をめぐる状況、日常生活の宗教性について学び、理解できるようになることを目的とする。

C コース 社会経済学から考える世田谷の未来

＜駒澤大学 教授 明石英人＞

今日、「資本主義」をめぐる議論が活発になっています。本講義では、アダム・スミス、リカード、マルクスなどが取り組んだ社会経済学の基本的なヴィジョンを解説しながら、世田谷の未来について受講生と一緒に考えていきます。格差・貧困問題や環境問題などに関する地域の取り組みについても扱っていきます。社会経済学理論の基礎を学びながら、「資本主義」と教育・労働・環境などの関わりを理解し、未来の日本や世田谷のあり方を深く考察できるようになること目標とする。

D コース 地域創生講座－地生の現状と課題・あるべき姿

＜コーディネーター 地域環境科学部長 教授 大林宏也＞

東京への一極集中、地方の過疎と少子高齢化が進行するなか、人口減少に歯止めをかけ、地域創生・SDGsの推進や若者等の雇用創出を図る。また、女性の活躍の場づくりなど、地域の雇用安定を図り、成長力を確保するための国の政策などを学び、実践し得る地域創生人材を養成する。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

E コース 地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て

＜コーディネーター 国際食料情報学部長 教授 高柳長直＞

日本の農業人口の減少と高齢化、食料自給率低下の中で、国は農林水産業者の高齢化、後継者不足、低収益性等の課題の解決に向けて持続可能な地域創生の実現を目指す政策を策定し実行している。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

F コース 食料安全保障とグローバル・バリューチェーン概論

＜コーディネーター 食料環境経済学科 准教授 野口敬夫＞

日本では食料を安定供給するために輸入が不可欠であるが、その食料輸入を担う商社などのアグリフードビジネスが、海外での調達から日本の輸入・販売に至るグローバルなバリューチェーンを構築している。新興国の経済成長などを背景として世界的な食料需給の変動による価格高騰や国際的な食料獲得競争が進展するなか、アグリフードビジネスはどのような事業を進めているのか。本講義では、日本の貿易相手国における食料生産・輸出の動向、実際の輸入を担う日系商社の役割、日本国内の食料需要、農林水産省等の政府が進める食料安全保障政策等について学ぶ。

G コース 起業家精神と事業開発

＜コーディネーター 食料環境経済学科 教授 大浦裕二＞

日本の起業家精神を持った人材および起業家を増やすことを目的とする。研究を社会実装し、事業として成長する領域までを視野に入れながら「事業を生み出す」ことを仮想的にワークショップ形式で行うことで、小さな成功体験と広い世界観を学ぶことができます。また、起業家に関する学識者を特別ゲストとして招聘し、現在の社会課題を解決するためのビジネスアイデアや国内外の起業の実例を紹介することで、地球規模の社会課題に取り組む視座と考え方も併せて学ぶ。

Hコース データサイエンス基礎

東京農業大学では、社会の要請に対応すべく2023年度から全学部生を対象としたリテラシーレベルの「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を開始します。本プログラムは、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に準拠し、数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を涵養することを目的としています。

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を構成する科目と修了要件単位数

分野		授業科目		単位数	修了必要単位数	
総合教育 科目	全学共通 科目	導入科目	コア科目	情報基礎(一)	2単位	2単位
		導入科目		情報基礎(二)	2単位	2単位
		課題別科目		特別講義 データサイエンス基礎 ※	2単位	2単位
専門教育科目	学科専門科目	専門基礎科目	関連科目	実験計画法	2単位	2単位以上
		専門基礎科目		生物統計学	2単位	
		自然関係科目		統計学	2単位	
		専門共通科目		統計基礎	2単位	
合計					8単位以上	

※情報基礎(一)と情報基礎(二)の単位を修得していなければ特別講義 データサイエンス基礎を履修できません。

「特別講義 データサイエンス基礎」の履修登録について

「特別講義 データサイエンス基礎」は全学部生を対象に開講します。

「情報基礎(一)」と「情報基礎(二)」の単位を修得していれば学年を問わず履修できます。

(注)ライブオンラインの授業ではWebカメラ、イヤホン(ヘッドフォン)、マイクが必要です。

「特別講義 データサイエンス基礎」の特徴

- ・授業内容は可能な限り農業に関する親しみやすい事例を取り入れることにより、解りやすい実習、ワークショップを通じて、AI時代における実学主義を涵養します。
- ・富士通株式会社との包括連携協定に基づく人材交流によって、実践的かつ本学の専門性に沿った講義を複数回設定し、データサイエンスの活用イメージが湧く授業内容を取り入れます。
- ・より多くの学生が受講できるよう、授業はオンライン(オンデマンド、ライブ)で行います。

「特別講義 データサイエンス基礎」の2023年度授業(概要)は <https://www.nodai.ac.jp/datascience/> の「7. 特別講義 データサイエンス基礎の授業内容」を参照してください。

授業詳細は <https://nodaiweb.university.jp/datascience/> を参照してください。

関連科目一覧

学科	区分	開講学年	科目名
農学	選択	3	実験計画法
動物	必修	2	生物統計学
デザイン	必修	2	実験計画法
化学	選必	1	統計学
醸造	選必	1	統計学
健康	選択	1	統計学
健康	選択	3	生物統計学
栄養	選必	1	統計学
バイオ	必修	1	生物統計学
生化	必修	1	生物統計学

学科	区分	開講学年	科目名
微生物	必修	1	生物統計学
森林	選必	2	統計学
工学	選必	2	統計学
造園	選必	2	統計学
創成	選必	2	統計学
開発	選択	2	統計基礎
経済	選択	2	統計基礎
ビジネス	選択	2	統計基礎
食農	選択	2	統計基礎

(注1) 関連科目の開講の無い学科は他学部・他学科聴講で履修してください。

7 教職課程の履修登録について

(1) 履修登録までのスケジュール

次のとおりガイダンスを実施するので、**履修希望者は必ず出席してください。**

※ ② については、世田谷・厚木キャンパスどちらかのガイダンスに出席しても可。いずれか都合のよい日に出席してください。

① 1年次生の受講希望者に対するガイダンス

4月上旬 オンデマンドによる説明 配信(学生ポータル)

② 教職履修ガイダンス、申込について

【世田谷キャンパス】	6月12日(月) 12:20~12:50	} 131 教室
	6月14日(水) 16:20~17:00	
	6月16日(金) 16:20~17:00	

【厚 木キャンパス】	6月12日(月) 12:20~12:50	} トリニティーホール
	6月15日(木) 12:20~12:50	

履修希望者は、ガイダンス時配付の申込書を **6月22日(木)17:00まで** に提出してください。

提出先：【世田谷キャンパス】教務課、【厚木キャンパス】学生教務課

③ 受講料・振り込み案内

1免許教科 120,000円

2免許教科 140,000円

3免許教科 160,000円

4免許教科 180,000円

※中学・高校理科併修の受講料は1免許教科分として扱う。納金した受講料は返金しません。

6月28日(水) 学生ポータル(あなた宛てのお知らせ)で配信

④ 受講料振り込み期間

7月6日(木)~7月13日(木)

(2) 履修登録注意事項

① 教員免許を取得するには、「教職課程開講科目」+「各学科配当科目(免許種ごとの科目)」で**59単位**と、「各学科配当科目に全教員免許状取得に対し、修得必須となる科目」の**8単位**が必要です。(6月の履修説明会にて、各学科で取得可能な免許状ごとの取得単位一覧表[履修案内]を一人一冊配付する予定です。)

② 学部・学科配当科目で取得希望する免許教科の科目(教科によって必修、選択は異なる)は、1年次からなるべく履修してください。学部・学科配当科目は「学生生活ハンドブック」の授業科目配当表で確認してください。

③ 教育実習派遣条件を満たすため、「スポーツ・レクリエーション(一)(二)」「日本国憲法」を3年次までに修得してください。

④ 教職課程の専門科目は1年次後学期から開講されます。後期履修登録期間に履修登録を行ってください。(後期履修登録期間より履修登録が行えます。)

⑤ 教職科目は教職科目時間割表で開講科目を確認し、必修科目であっても履修登録してください(教職科目は**自動登録にはならない**)。

⑥ 複数開講している同名科目は受講する日時を選択し、履修登録してください(学科指定開講科目を除く)。

※世田谷・厚木両キャンパスで開講している講義科目は、学科指定のある科目を除き履修することができます。

⑦ 実験科目は受講学科を定めて開講しているので、確認のうえ履修登録してください。

8 学術情報課程の履修登録について

(1) 学部1年次生の履修申請

① 受講希望者に対するガイダンス履修説明会の実施

※世田谷・厚木キャンパスどちらのガイダンスに出席しても可。いずれか都合のよい日に出席してください。

【世田谷キャンパス】	11月10日(金) 12:20~12:50	} 131 教室
	11月16日(木) 12:20~12:50	
【厚 木キャンパス】	11月14日(火) 12:20~12:50	} トリニティーホール
	11月17日(金) 12:20~12:50	

② 受講料

学芸員資格(単修) 130,000円

司書資格(単修) 130,000円

学芸員・司書資格(併修) 180,000円

※納金した受講料は返金しません。

③ 履修許可者発表・振り込み案内

2024年1月(詳細は履修説明会で説明)

④ 申込先

【世田谷キャンパス】 教務課

【厚 木キャンパス】 学生教務課

(2) 履修登録注意事項

① 学術情報科目は学術情報科目時間割表で開講科目を確認し、必修科目であっても履修登録してください(学術情報科目は自動登録にはならない)。

② 複数開講している同名科目は受講する日時を選択し、履修登録してください(学科指定開講科目を除く)。

※世田谷・厚木両キャンパスで開講している講義科目は、学科指定のある科目を除き履修することができます。

9 全学共通科目「日本語」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国子女を対象として開講する授業科目です。**修得した単位は、卒業要件として他学科履修・他学部履修・英語による専門教育プログラムと合わせて30単位まで含めることができます。**

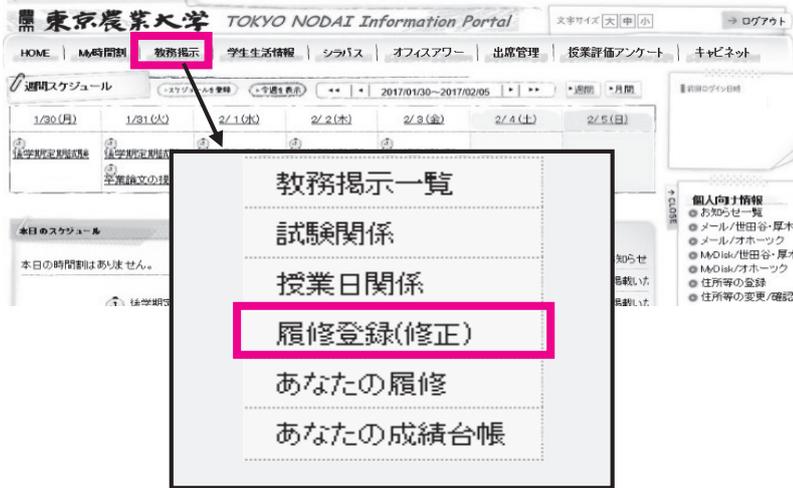
10 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

※ 学務課窓口で確認してください。

11 履修登録の入力方法

履修登録は学生ポータルサイトの「履修登録(修正)」からできます。登録方法は以下のとおりです。

(1) 学生ポータルを開き「履修登録・修正」をクリックします。



- ① 「教務掲示」を選択
- ② 「履修登録(修正)」をクリック

【注意】

住所確認(または変更)を行っていない学生は、Web履修システムを利用することができません。

(2) 履修登録画面が表示されます。

The screenshot shows the registration interface. At the top, there are buttons for '登録内容入力', '登録内容確認', and '登録完了'. Below is a table for selecting classes. A red box with '①' points to a '他' (Other) icon in the 1st period, Monday column. Another red box with '②' points to a '再履修' (Retake) icon in the 3rd period, Wednesday column. Below the schedule is a table for '集中講義' (Concentration Lectures) and a summary table for '履修単位' (Credit Units).

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	2000	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

	履修単位	前学期		後学期		年間		累積
		上限	下限	上限	下限	上限	下限	
上限	履修単位	22	5	22	11	44	16	-
下限		-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10
								6(4)

初期表示は現在の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

① 他所属講義アイコン

コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像[他]が表示されます。

② 再履修科目アイコン

コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像[再履修]が表示されます。

③ 履修単位

学期、年間、累積(他所属のみ)の履修単位数が確認できます。

- ・黒字: 学期、年間は制限単位数
- ・赤字: 履修中の単位の合計
- ・累積: 制限単位数(黒字) + 今まで履修してきた単位 + 登録中の単位の合計(赤字)を表示します。カッコ内に前の学期までの数が表示されます。

(3) 履修登録を追加します。

新しく履修登録を追加(履修を申請)する方法について

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可
18時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(略)			
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(略)		
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(略)	

①- 1. 時間割表にある新規追加
[]アイコンをクリックします。

開講科目選択

2016年 後学期 月曜日 2時限

開講科目を選択してください。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input type="checkbox"/>	O3154		TOEIC英語(二) 生 B 新カリ	【総合教育科目 共通】英語科目	2	須田 誠			
<input type="checkbox"/>	O3232		TOEIC英語(二) ア B 新カリ	【総合教育科目 共通】英語科目	2	朝田 正可			
<input type="checkbox"/>	O3331		TOEIC英語(二) 食 B 新カリ	【総合教育科目 共通】英語科目	2	間山 愛			
<input type="checkbox"/>	O3471		TOEIC英語(二) 産 B 新カリ	【総合教育科目 共通】英語科目	2	南田 育江			
<input type="checkbox"/>	O5362		TOEIC英語(二) ア B 現カリ	【総合教育科目 共通】英語科目	2	宮坂 里奈			
<input type="checkbox"/>	S0640	必	英語(四)セ光~旧2 A	【総合教育科目 共通】英語科目	2	橋本 悠太	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

①- 2. 開講科目選択画面が表示
所属学部学科開講科目と全学開講
科目が表示されます。

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・
担当教員」等の情報を確認し、
表示されている開講科目から選択し
[登録する]をクリックします。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可
18時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(略)			

②- 1. 開講科目を検索して登録します。
[開講科目検索] をクリックします。

開講科目検索

2016年 後学期

開講科目の検索条件を入力してください。

検索条件	検索結果
曜日	
時限	
開講番号	<input type="text"/> (前方一致)
開講科目名	<input type="text"/> (部分一致)
分野系列	
担当教員	<input type="text"/> (部分一致)

②- 2. 検索画面が表示されます。

「開講番号」で検索する場合は注意

4桁の数字の前に、
必ず半角英字大文字を入力してください。
「S****」 世田谷キャンパスの講義
「A****」 厚木キャンパスの講義

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20357の氏名(略)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	

他所属講義選択

2016年 後学期

他所属講義を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input checked="" type="checkbox"/>	S6517		花卉栽培論 農学2	他学部履修	2	山之内 貞夫			他

閉じる 閉講科目を追加する 登録する

③-1. 他所属講義を登録します。
[他所属講義選択] をクリックします。
※他学部・他学科履修

③-2. 他所属講義選択画面が表示
表示されている開講科目を選択し、
[登録する] をクリックします。

※ 他所属講義科目を追加
表示されている開講科目以外の開講
科目を登録する場合は、
[開講科目を追加する]をクリックすると
登録できます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20357の氏名(略)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	

集中講義選択

2016年 後学期

集中講義を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input type="checkbox"/>	O1139		特別講義(一) 生 A 新カリ	【総合教育科目 全 学共通】 課題別科	2	高橋 幸助			集中
<input type="checkbox"/>	O1235		特別講義(一) ア A 新カリ	【総合教育科目 全 学共通】 課題別科	2	長谷川 環			集中
<input type="checkbox"/>	O1336		特別講義(一) 食 A 新カリ	【総合教育科目 全 学共通】 課題別科	2	沖田 太郎			集中
<input type="checkbox"/>	O1448		特別講義(一) 産 A 新カリ	【総合教育科目 全 学共通】 課題別科	2	中山田 正人			集中
<input type="checkbox"/>	O1524		日本語(一) 英 新カリ	全学共通	2	小島 正弘			集中

閉じる 登録する

④-1. 集中講義を登録します。
[集中講義選択] をクリックします。

④-2. 集中講義選択画面が表示
「開講番号(履修番号)」「開講科目名・
担当教員」等の情報を確認します。
表示されている開講科目から選択し
[登録する] をクリックします。

(4) 履修を削除することができます。

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201267の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201087の氏名(職)		

既存の「登録科目名」をクリックすると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

(5) 登録内容が反映された状態で履修登録画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録 登録済 変更不可			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201267の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 方】 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201087の氏名(職)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 202016の氏名(職)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義表

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	S8098	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限	履修単位	5	11	16	-
上限	他所属	0	2	2	10
					6(4)

※他所属:他大学、他学部、他学科

入力内容を確認する

前述(3)~(4)の手順を繰り返し、開講科目をすべて選択し終わったら、[入力内容を確認する]をクリックします。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科により異なります。

この時点では、まだ履修登録は完了していません。

(6) 履修登録内容確認画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

← 入力画面へ戻る

2016年 前学期 2016年 後学期

未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カノ 202503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カノ】 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カノ 202503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カノ 202215の氏名(職)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8099	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	5	27	18
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	10
					6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

← 入力画面へ戻る

この内容を登録する

内容を確認のうえ、問題なければ
[この内容を登録する]をクリックします。

(7) 履修登録完了画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

以下の内容を登録しました。

プレビューで確認して下さい

印刷する

2016年 前学期 2016年 後学期

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新 カノ 202503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カノ】 201659の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カノ 202503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カノ 202215の氏名(職)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8099	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	5	27	18
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	10
					6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

登録番号: 103

この時点で履修登録が完了

履修登録が完了すると[登録番号]が表示されます。

履修登録完了画面では、右上の
[印刷する] ボタンをクリックすると
ブラウザの印刷画面が表示されます。
履修登録完了後の控えとして、
履修に関する問い合わせの際
「根拠資料」になりますので
右下の「登録番号」を控えてください。
問合せには「登録番号」が必要です。

(8) 履修登録ができない場合



①「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。履修登録を行うためには、「本人現住所の確認」等をしてください。

②メニュー画面から「住所等の登録」をクリックします。

※サイドメニューから選択もできます。

12 履修確認について

(1) 学生ポータルで履修登録状況を確認してください。

※確認日程等は9ページを参照してください。

(2) 履修登録内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルサイトから修正してください。

(3) 履修登録は履修番号に基づき行っています。履修番号を誤って登録すると、エラーが表示されるか、全く別の授業科目が登録されますので、登録されている授業科目名・クラス・担当者を確認してください。

履修登録内容の確認

- 登録した科目が正しく登録されていますか
- 科目名・担当教員名・クラスに間違いはありませんか
- 履修登録をしていない科目が記載されていませんか

➡ 履修登録をしていない授業科目は、授業に出席しても単位は認定されません

13 履修確定について

- (1) 学生ポータルサイトで履修登録状況を確認してください。日程等は学生ポータルサイトでお知らせします。
- (2) 履修登録(修正・変更を含む)期間では、自分の登録画面(27ページ(7)の履修登録完了画面)を必ずプリントアウトし、いつでも確認できるようにしています。
- (3) 用語の説明
 - ◇ 正規履修…… 所属する学部・学科で開講している科目を初めて履修登録する場合の登録種別。在学年次授業科目の場合は、指定したクラス分に従い履修登録してください。低学年次の授業科目の場合は、クラスを選んで履修登録してください。
 - ◇ 再履修 …… 一度履修した授業科目のうち、不合格(不可または未評価)になった授業科目を再度履修する場合の登録種別。
 - ◇ 他学科聴講… 所属する学科以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。
 - ◇ 他学部聴講… 所属する学部以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。

14 授業について

本学では授業に関するさまざまな情報を学生ポータルサイトにて開示しています。授業を受講するにあたっては、次の事項について把握してください。

- (1) 授業の内容を知るには…
シラバス(学生ポータル上)を活用してください。シラバスに教育目的・各回の内容・受講上の注意事項などを記載しています。
- (2) 授業の開講に関する情報は…
 - ◇ 授業が休講になる場合は、学生ポータルサイトの「教務掲示」にて伝達します。
 - ◇ スマートフォンからも確認することができます。
 - ◇ 休講となった授業の補講については、授業中における担当教員からの指示または学生ポータルサイトにおいて周知するので確認してください。
 - ◇ 授業の教室を変更する(した)場合は、学生ポータルサイトに掲載します。
- (3) 先生方に質問や相談をしたい…
授業に関する質問や相談は授業中に行うのが原則であるが、次の方法で行うことも可能です。
 - ◇ オフィスアワーを確認して研究室などを訪ねる。
オフィスアワーとして教員が学生の相談を受け付ける時間を設定しています。各教員のオフィスアワーは学生ポータルで確認することができます。(5ページ～(2)各メニューの使い方を参照)
- (4) より良い授業にするために…
本学では、学生に対して質の高い授業を保証するために、前学期と後学期に「学生による授業評価および学修時間アンケート」を実施しています。なお、実施の方法については、学期毎に学生ポータルサイトに掲示します。
- (5) 授業のことで困ったら…
 - ◇ 授業に対して意見がある場合は、教務課窓口においてある「授業に意見」という用紙を用いて提出することができます。これは日ごろ授業を受けていて感じること、改善してほしいと願っていることを発言するためのものであります。
 - ◇ 履修登録および評価に関する質問・相談等は、学部事務室または教務課窓口で受け付けます。

15 試験について

授業科目の履修状況の評価し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポートに代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示にしたがってください。

(1) 受験資格

- ◆ 当該授業科目を履修登録している。
 - ◆ 当該授業担当者の定める出席日数を満たしている(原則として授業日数の2/3以上の出席が必要)。
 - ◆ 当該学期までの学費、その他の納付金を納入している。
- ※ 休学期間中に試験を受けることはできません。

(2) 定期試験

一定期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験です。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始約1週間前に学生ポータルサイトに発表します(実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません)。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日(試験時間割発表時に掲示)までに欠席の事由(当日の状況など)を証明する書類を持参し、試験欠席の手続きを行います。この届出により、追試験の受験を認めます。 **※欠席事由と添付提出書類は次のとおり**

欠席事由	提出書類
病気	医師の診断書(試験当日の健康状態を記載のものに限る) または病院の領収書(日付及び氏名が記載されたもの)
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引(三親等までの親族の死亡)	死亡に関する書類(会葬通知等)
就職試験等	就職活動証明書(キャリアセンターで証明を受けること) ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前、早めに窓口で確認すること。なお、 <u>企業説明会は認められないので注意。</u>
災害(水害・火災等)	官公庁による被災証明書

(3) 定期試験に関する注意事項

- ◇ 試験時間は45分間。通常の授業時間とは異なるので注意すること。
- ◇ 学生証を所持していない学生は受験できない。なお、当日忘れた場合は、学生課にて仮学生証の発行を受けること(有料 500円・当日限り有効)。
- ◇ 受験科目が重複した場合は、事前に申し出ること。
- ◇ 試験場への入場は、試験開始後20分までとする(試験開始後は退場できない)。
- ◇ 試験場または受験科目・授業担当者の間違い、もしくは無記名答案は受験しても無効となる。
- ◇ 答案は白紙であっても必ず提出すること。
- ◇ 不正行為が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効(未評価)とする。
- ◇ 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。
- ◇ その他試験に関しては教務課へ問い合わせること。

【試験時間】

授業時限	試験時限	試験時間
1時限	1時限	9:00～ 9:45
	2時限	10:00～10:45
2時限	3時限	11:00～11:45
	4時限	12:00～12:45
3時限	5時限	13:00～13:45
	6時限	14:00～14:45

授業時限	試験時限	試験時間
4時限	7時限	15:00～15:45
	8時限	16:00～16:45
5時限	9時限	17:00～17:45
5・6時限	10時限	18:00～18:45
6時限	11時限	19:00～19:45

(4) 追試験

定期試験またはそれに代わる試験をやむを得ない事由(「(2)定期試験」を参照のこと。)により、受験できなかった場合に、その根拠書類とともに所定期間内に申請し、追試験期間中に試験を受けるものです。追試験の実施方法は、試験開始約1週間前に学生ポータルサイトにて掲示するので確認してください。

※ 追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

16 成績質問について

各学期に履修した授業科目の評価(成績)については、学生ポータルサイト上で確認してください。この成績に関して質問がある場合は、成績開示後に成績質問票を提出してください。

なお、この質問票は、評価の変更を目的として行うものではなく、今後の学習を進めるうえでどのような点に留意する必要があるのか、どのような点が理解できなかったのかを確認するために行うものです。この制度の主旨を理解のうえ提出してください。主旨に反する内容の場合は回答しません。提出方法等は、学生ポータルサイトで通知します。

17 成績評価とGPAについて

(1) 成績評価

「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格。成績評価の基準は、次のとおりです。

【成績評価基準のガイドライン】

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績(履修者の5%以内)
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

※ 成績評価基準は、全体の得点を鑑みて、評価を調整することがあります。

(2) GPAについて

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

◇ GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。

他学科・他学部聴講科目などは含め、リメディアル教育科目、教職・学術情報課程及び認定科目は除きます。

◇ GPAの算出方法

【a. 学期ごとのGPAの算出方法】

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) GPA対象科目で不可(D)及び未評価(F)科目は、分母に含みません。

注2) 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3) 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4) 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

【b. 通算GPAの算出方法】

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づき、その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2) 再履修した場合は1科目としてカウントします(ダブルカウントしません)。

注3) 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出する。

18 時間割を参照するうえでの留意事項

時間割は Web 上で PDF ファイルを公開します(5 ページ～(2)各メニューの使い方を参照)。

(1) 学期表記

集中授業科目は開講学期に従い表示しています。

(2) 科目の種類(区分欄に表示)

必・・・必修科目 選必・・・選択必修科目 空欄・・・選択科目

(3) クラス分け表示

- ◇ クラスを学籍番号で分ける科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認してください。
- ◇ 大学の総合教育科目時間割に大文字のA・B・C…でクラス分け表示がある場合は、オープン科目です。各自の時間割に合わせて選択し、受講してください。(一部科目を除く)
- ◇ クラス分けのない科目は、クラス表示をしていません。

(4) 隔週表示

区分欄の前に「隔週」と表示した科目は、1週おきに単独または2科目交互に実施する科目です。実施については授業担当者の指示に従ってください。

(5) 集中授業科目

時間割に日程・時間・教室の記載がない科目は、後日、集中科目日程表を学生ポータルサイトの時間割格納場所に掲出します。

(6) 担当者表示

担当者が複数の科目は、備考欄に全担当者の名前を列記していることがあります。

(7) 教室表示

- ◇ 教室欄に2室以上配当している科目は、いずれの教室で実施するかを担当教員または開講学部事務室で確認してください。
- ◇ 実験・実習・演習室は略称表示をしています「実験・実習・演習室略号一覧」(54 ページ)で確認してください。
- ◇ 教室の場所がわからない場合は、学部事務室または教務課等で確認してください。

(8) 開講時限・教室等の変更

時間割・教室等は、変更になることがあるので、必ず学生ポータルサイトを確認してください。また、次年度以降の時間割(開講学期・曜日・時限・担当者等)は変更になる可能性があります。

(9) 教職課程科目の時間割

- ◇ 科目名の後に、学科名の短縮表示がある科目は、学科指定の科目です。当該学科・学年の学生は必ず指定の時限で履修してください。
- ◇ クラス欄にアルファベット表示のある科目はオープン科目です。各自の時間割にあわせて選択し、受講してください。(一部科目を除く)

(10) 履修番号欄の「S****」は、次の場合に表示している

- ◇ 当該時限前の科目を引続き開講する場合
- ◇ 後学期において通年科目を表示する場合

19 C-Learning(出席確認システム)の利用方法について

出席はスマートフォン、タブレット、パソコン からC-Learningにアクセスし、各授業で先生から提示される「確認キー」を入力することで“出席登録”をすることができます。ログイン方法は a.アプリから、b.農大ホームページからの2通りあります。

(1) ログイン方法

【a. アプリからログイン】

① アプリのダウンロード



C-Learning [for Student]

「App Store」、「Google Play」からアプリ(C-Learning[for Student])をダウンロードして、インストールしてください。各 QR コードを読み取り、アクセスすることができます。

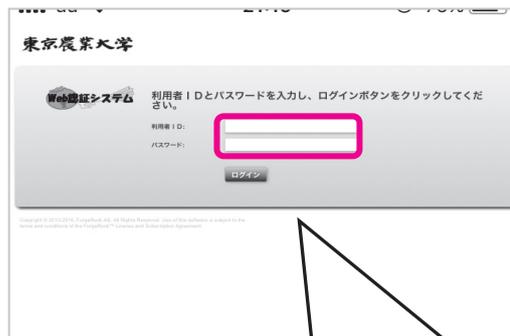
iPhone 版



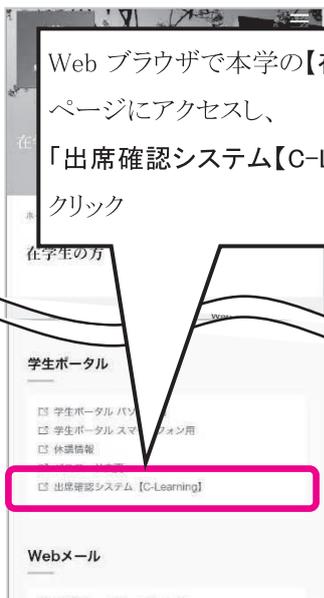
Android 版



② アプリでログイン【初めての場合のみ】



【b. 農大ホームページからログイン】



ログインID：あなたの学籍番号
パスワード：学生ポータルパスワードと同じを入力後、[ログイン]をクリックすると、C-Learningのホーム画面が表示されます。

(2) 出席登録

C-Learning には履修登録した講義が表示されますが、履修が確定するまでの間は、履修を予定している講義を C-Learning 上で追加する必要があります。授業が始まるまでに、講義の追加を済ませておいてください。履修開示後に、履修登録した講義が反映されます。表示されていない(追加されていない)講義には、出席登録をすることができません。

出席登録時間は授業形態により次のとおり登録時間が異なります。

【対面授業科目】 授業時間内 ※遠隔授業回も授業時間となります。

【遠隔授業科目】 授業日の 6:00~22:30

① C-Learning 上での講義の追加方法(履修が確定するまで)



ページ最下部へ移動し、参加予定の講義の「履修番号」を入力後、[講義の確認] をクリック

表示された講義のデータをよく確認してください。確認後 [参加する] をクリック

参加した講義が表示されます。「出席登録」をする予定の講義を追加してください。

② 出席登録をする



“出席”する「講義」をクリック ※講義名をよく確認すること

提示された「確認キー」を入力後、[出席する] をクリック

“出席登録”が完了しました。[出席履歴] をクリックすれば、過去の出席状況を確認できます。

(3) よくある質問

- ◇ 講義を登録したが、履修する予定がなくなった。間違った講義を追加してしまった。・・・など

C-Learning で講義を追加すると削除することが出来ませんが、履修の開示後、履修登録を行っていない講義は非表示になります。履修確定後の C-Learning での講義追加は無効となり、翌日には非表示となります。

- ◇ C-Learning の講義追加をすれば履修登録が完了したことになりますか？

C-Learning での講義追加のみでは履修登録は完了しておりません。必ず学生ポータル上で履修登録をしてください。

20 遠隔授業の受講方法について

(1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、自宅にいながら遠隔で講義を受ける形態のことです。学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材(オンデマンド型)の閲覧や、講義の録画動画を閲覧することで学習し、指示された課題に対してレポート等を提出し受講します。なお、受講はできるだけ授業日にしてください。

(2) 受講方法

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等を確認し、指示に従ってください。対面授業で実施している講義も適宜遠隔授業を組み合わせて実施していきます。学期の中で授業担当者から指示がありますので、注意するようにしてください。

授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

授業30分前まで

講義連絡	学生ポータル「My時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	--------------------------------

授業開始

実施方法	教材配信	その他
内容	ナレーション付き PowerPoint や資料配信	双方向リアルタイム通信
配信ツール	学生ポータルの在宅学習用教材フォルダ	Zoom
受講手順	在宅学習用教材フォルダから教材をダウンロード	授業時間に Zoom ミーティングに参加
出席確認	C-Learning	C-Learning もしくは点呼
質問方法	対面授業時かメールまたは、オフィスアワーにて質問	授業内

(3) 受講する際の推奨機器、推奨スペック

◇ 受講する際の推奨機器

「ノート型パソコン」または「タブレット(キーボード付)」をお勧めします。スマートフォンは、レポートの作成やオンラインでの小テスト受験等に適しておらず、パソコンやタブレットに比べて学習環境としては不十分です。

また、キャンパス内では、Wi-Fi 環境が整備されていることから、持ち運びが可能なノート型パソコンやタブレットであれば、通信量を気にせず、オンデマンド教材のダウンロード等が可能です。

※学内のWi-Fi環境については、情報教育センターHPをご確認ください。

◇ 使用する機器の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記の通りとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考になしてください。

- ・OS.....Windows10以上 64Bit (Pro推奨)※1
- ・CPU.....Intel ならCorei3 以上、AMD ならRyzen3 以上
(※2 特定学部: Intel ならCorei5 以上、AMD ならRyzen5 以上)
- ・メモリ.....8GB 以上(※2 特定学部: GPU 搭載またはGPU 非搭載の場合はメモリ16GB 以上)
- ・ディスプレイ解像度...1360×768 以上(※2 特定学部: 1920×1080 以上)
- ・内蔵記憶.....250GB 以上(SSD 推奨)
- ・Wi-Fi、カメラ、マイク及びスピーカー内蔵(外付可)

※1 Mac の利用も可能としますが、大学として一部サポートできないことがあります。

※2 特定学部: 地域環境科学部・国際食料情報学部

大学がライセンス契約し無料で使用できるArcGIS、AutoCAD を個人のパソコン等にインストールする場合の推奨スペック(インストールは任意です)。

新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト(Word、Excel、PowerPoint、Access 等)は、大学がライセンス契約しているため、無料で使用できます。同ソフトを購入する必要はありません。

21 教材フォルダの使い方

遠隔授業を受けるにあたり、「在宅学習用教材」は学生ポータルからWeb上のフォルダにアクセスし、教材ファイルをダウンロードして受講してください。

【注意事項】

- ◇ 教材はMicrosoft officeを使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 配信教材は音声付スライド(PowerPoint)、レジュメ(PDF)等複数の種類があります。
- ◇ PCを使用しての学習を推奨しています。(スマートフォン等でファイルをダウンロードして閲覧することは可能です。)
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ず**ダウンロードして学習**してください。
- ◇ 対面授業の科目もフォルダを用意しています。配信教材が入っていない場合は講義連絡・シラバスも併せて確認してください。

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal interface. The main navigation bar includes 'HOME', 'My時間割', '教務掲示', '学生生活情報', 'シラバス', 'オフィスアワー', '出席管理', '授業評価アンケート', and 'キャンネット'. The 'シラバス' (Syllabus) section is active, displaying a weekly schedule for the period 2023/02/21 to 2023/02/27. The '個人向け情報' (Personal Information) sidebar on the right contains various links, with the '在宅学習用教材' (In-home Learning Materials) link highlighted in a pink box. Below this link, a list of departments is shown, including 農学部, 応用生物科学部, 生命科学部, 地球環境科学部, 国際食料情報学部, 世教財・学術情報課程, 世学共通科目, 農学研究科・Grad. Sch./Agr., and 応生研究科・Grad. Sch./Appl Bio.

「在宅学習用教材」から該当科目の開講学部をクリックしてください。

22 Formsの使い方

Formsは、各種アンケートの実施や、小テスト、試験で活用します。アクセスに必要なURLは、主に学生ポータル
の「お知らせ」や「講義連絡」で周知します。

(1) Formsへのアクセス

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート | キャビネット

教務情報(講義連絡情報)

← 一覧画面へ戻る

講義連絡対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
水6限 (18:00-19:30)	英語(四)		教室	後学期

講義連絡の詳細

メッセージ種別	講義連絡
送信者	
タイトル	
詳細	
URL	https://forms.office.com/Forms/ResponsePage.aspx?d4e11f555f5f4d0k0kHSRt+3SIAwRC5W3aJ1ChugoV1f+tbJUNIVDU

教務情報

- 教務掲示一覧
- 授業日関係
- 履修関係
- 試験関係

履修成績

- 履修登録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

- ①「教務掲示」を選択
- ②「履修登録(修正)」をクリック

【注意】
住所確認(または変更)を行って
いない学生は、Web履修システムを
利用することができません。

(2) サインイン

Microsoft
サインイン

電子メールアドレスまたは電話番号
アカウントにアクセスできない場合

次へ

東京農業大学

Web認証システム

利用者IDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

利用者ID:
パスワード:

パスワードを入力

ログイン

①サインインを求める画面が表示されたら、農大のメールアドレスを入力し、
[次へ]をクリックしてください。

②Web認証画面が表示された場合は、
パスワードを入力し[ログインボタン]を
クリックしてください。

(3) 解答方法

6月1日小テスト

6月1日の授業内容に関する小テストです。

kyoumu さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

1. 東京農学校の設立は(何年?)
(2点)

1891年

1893年

1925年

送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記載しないでください。

Powered by Microsoft Forms | プライバシーと Cookie | 利用規約

③解答画面に切り替わり、解答が可能
になります。

④選択肢(複数選択有り)やテキスト
入力、ドロップダウン等の様々な解答
方式があります。

解答時間が設定されている場合は
59秒までが解答時間となりますので、
注意してください。

【例】9時までの場合、8時59分59秒まで

23 ナンバリングについて

ナンバリングとは 授業科目に採番ルールに基づく番号を付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程（カリキュラム）の体系性を明確にするとともに、学生に目的意識及び計画性を持って学修させることを目的とします。

シラバスに科目ナンバリングを記載しています。

※ナンバリングの採番については学生ポータルから確認できます。

24 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学部・学科別に記載していますので、参考にしてください。

【注意】 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、「学生生活ハンドブック」を参照してください。